



高血圧早期診断を

徳島大病院
フォーラム
脳出血など危険性大

徳島市

「高血圧から心臓・脳・腎臓を守るには？」をテーマとした徳島大病院フォーラム(徳島新聞社など共催)が23日、徳島市のあわぎんホールであり、約500人が専門家の話に耳を傾けた。

同病院の佐田政隆教授は、高血圧で脳出血や心筋梗塞などのリスクが高まると注意を促し「家庭でも朝と晩に血圧を測り、高血圧なら早めに医師の診断を受けて」と呼び掛けた。高血圧が薬で改善しにくい患者は睡眠時無呼吸症候群の可能性があることも指摘した。

徳島県市の日下美穂医師は、減塩の食事による高血圧予防について説明。日本人が1日平均11gを摂取している塩分を1食2〜3gとするよう求めた。徳島大病院の栄養士4人による減塩をテーマにした演劇などもあった。(濱岡幸宏)

1月18日付朝刊に詳細を掲載します。

高血圧についての講演があった徳島大病院フォーラム＝徳島市のあわぎんホール

日本高血圧学会の減塩委員会に所属してい

1月18日付朝刊に詳細を掲載します。